

## カラシラサギ *Egretta eulophotes* 2005年 福井県内で初記録

柳町 邦光<sup>1</sup>

### はじめに

カラシラサギ *Egretta eulophotes*は朝鮮半島，中国大陸南部で繁殖分布し，冬は東南アジア・ボルネオ・スマトラなどで越冬する．日本には主に4～8月に迷鳥または旅鳥として北海道から南西諸島までに記録はあるが，九州以南で比較的多い．単独でいることが多く，河口，入江や干潟，海岸近くの湿地や水田で採餌する（中村・中村 1995）．

カラシラサギは，全身が白く，夏羽では後頭部に20本ぐらいの細い冠羽が出る．嘴は黄色で，足は黒く足ゆびは黄色である（高野 1980）．福井県における鳥類目録は「福井の鳥とけものたち」（1998．福井県）に計18目63科317種が掲載されているが，本種は掲載されていない．2005年6月18日，北潟湖畔のあわら市蓮ヶ浦地係の湛水した休耕田で本種1羽を確認し，福井県内で初記録となったので報告する．本種は，「改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 - レッドデータブック - 2，鳥類」（2002．環境省）で情報不足（DD）に分類指定されている．

### 確 認

カラシラサギが確認された日時は，2005年6月18日午前10時ごろで，天候は晴れであった．場所は，福井県の北端に位置する北潟湖畔のあわら市蓮ヶ浦の水田地帯で，湛水した休耕田（36°15' N，136°14' E，海拔約8m）であった．北潟湖周辺の水辺や水田ではバン *Gallinula chloropus*，カイツブリ *Tachybaptus ruficollis*，アオサギ *Ardea cinerea*，コサギ *Egretta garzetta*，チュウサギ *Egretta intermedia*，ダイサギ *Egretta alba*，アマサギ *Bubulcus ibis*等が生息し，冬にはマガモ *Anas platyrhynchos*，カルガモ *Anas poecilorhyncha*，ヒドリガモ *Anas penelope*，ヨ

シガモ *Anas falcata*等のカモ類が渡来している．この周囲の水辺にはヨシ *Phragmites communis* 等が繁茂している水辺環境であった．

観察されたカラシラサギは，一見コサギと見違えるほどであったが，嘴が黄色で後頭部からは数本の細い冠羽があったこと，および歩いているときに足ゆびの黄色を確認したことでカラシラサギと断定した．コサギより警戒心が強いように思われ，こちらの姿を警戒してか休耕田から飛翔してアカマツの横枝に止まった．その後，19日，21日にも同じ場所周辺で確認されたが，それ以後は確認できなかった．

福井県の沿岸には干潟等の湿地環境が殆んど無いことから，休耕田等の湛水化により湿地環境を確保し保全することが必要であろう．

### 引用文献

- 高野伸二．1980．野鳥識別ハンドブック．58pp．  
（財）日本野鳥の会．  
中村登流・中村雅彦．1995．原色日本野鳥生態図鑑 水鳥編．56pp．保育社．  
福井県自然環境保全調査研究会鳥獣部会（編）．1998．  
福井の鳥とけものたち．222pp．福井県．  
環境省自然環境局野生生物課（編）．2002．改訂・  
日本の絶滅のおそれのある野生生物 - レッド  
データブック - 2 鳥類．237pp．（財）自然環境  
研究センター

1. 柳町邦光 〒918-8046 福井市運動公園1-2703 （財）日本野鳥の会福井県支部 支部長



写真1.カラシラサギ (2005.06.18, あわら市蓮ヶ浦) で撮影.

First record of Chinese egret, *Egretta eulophotes*, in Fukui prefecture, 2005

Kunimitsu YANAGIMACHI<sup>1</sup>

One Chinese egret, *Egretta eulophotes*, was observed at a rice field (36 ° 15 N, 136 ° 14 E, altitude about 8 m) on the side of Kitagata Lake in Hasugaura, Awara city, Fukui prefecture, on 18 June 2005. It is the first record of the species in Fukui prefecture.

1. Undokoen 1-2703, Fukui city, Fukui 918-8046